

事務事業評価シート

事業番号	49					
事業名	生涯学習ルーム運営費	局名	教育局			
		部名	生涯学習部			
事業開始年度	平成7年度	課名	生涯学習課			
根拠法令等	「余裕教室活用指針」(国通知)、生涯学習ルームの運営に関する要綱	所属長名	大用 靖			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理(委託先又は指定管理者: 社団法人相模原市シルバー人材センター)					
	<input type="checkbox"/> 補助金(補助先:)					
	<input type="checkbox"/> その他()					
	<input type="checkbox"/>					
事業概要	目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の日常生活圏における最も身近な学習・コミュニティづくりの場の提供のため ・市民の多様な学習活動に応じ、支援するため ・利用率が高い公民館の貸館機能の補完的役割のため 				
	対象 (誰・何を対象に)	5人以上で組織され、構成員の過半数が相模原市内在住・在勤・在学者であり代表者が満16歳以上の団体 ※営利活動、宗教活動、特定の政党の政治活動等を除く				
	事業内容 (手段・手法など)	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の一時的余裕教室、特別教室を一般利用ができるように整備し、生涯学習ルームとして貸室を実施するとともに維持管理を行う。 ・管理業務はシルバー人材センターに委託。 ・貸し出し予約等はさがみはらネットワークシステムを利用。 ・8校14教室(平成23年10月1日現在) 平日(夜間のみ、17:00~21:30、18:00~21:30) 学校休業日(9:00~21:30) 				
	事業の必要性	「新・相模原市総合計画」の主要な施策における生涯学習関連施設の整備事業のひとつとして事業を推進している。 生涯学習ルームは地域の身近な生涯学習の場として位置づけており、かつ地域のまちづくり拠点となる公民館の補完的役割も併せ持っているため、当事業の必要性は非常に高い。 特に、公民館では限られる活動が生涯学習ルームではできるため、市民のニーズに応えることができる。				
コスト			平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度予算	
	事業費(直接経費)		6,756 千円	6,139 千円	6,772 千円	
	人件費	正規職員	従事者数	0.17 人	0.17 人	0.17 人
			概算人件費	1,235 千円	1,235 千円	1,235 千円
		嘱託職員・臨時職員等	従事者数	0.1 人	0.1 人	0.1 人
			概算人件費	108 千円	108 千円	113 千円
	人件費 合計		1,343 千円	1,343 千円	1,348 千円	
総事業費		8,099 千円	7,482 千円	8,120 千円		
市民一人あたりの事業費		0.01 千円	0.01 千円	0.01 千円		

		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度予算	
財源内訳	国・県支出金	0千円	0千円	0千円	
	受益者負担金	0千円	0千円	0千円	
	その他(電話使用料)	8千円	3千円	3千円	
	一般財源	6,748千円	6,136千円	6,769千円	
平成23年度 事業費の 主な内訳 (人件費を除く)	項目			金額	
	電話料			280千円	
	施設カーペットクリーニング			60千円	
	施設管理委託			6,300千円	
	施設清掃委託			90千円	
活動実績1	活動指標名	単位	H21年度実績	H22年度実績	H23年度見込
	生涯学習ルーム教室数	教室	16	14	14
単位当たりコスト1	(総事業費/活動指標)	千円	506.2	534.4	580.0
活動実績2	活動指標名	単位	H21年度実績	H22年度実績	H23年度見込
	生涯学習ルーム校数	校	9	8	8
単位当たりコスト2	(総事業費/活動指標)	千円	899.9	935.3	1,015.0
成果目標 (現状の成果及び 今後どのようにした いか、定量的な評 価で示す)	利用件数約1700件、利用人数約1万9千人の実績があり、公民館の補完的役割及び地域の生涯学習の場の提供を果たし、かつ学校施設の有効利用ができています。				
成果実績	成果指標名	単位	H21年度実績	H22年度実績	H23年度見込
	生涯学習ルーム利用件数	件	1,885	1,668	1,802
	生涯学習ルーム利用人数	人	19,557	18,475	19,970
特記事項 (事業の沿革等)	平成5年文部省通知「余裕教室活用指針」平成7年9月、4校9教室(旭小・上鶴間小・相武台小・大野北中)で開始。平成18年度、10校18教室。平成23年9月現在、8校14教室(旭小・相武台小・大野北中・光が丘小・桜台小・大野南中・上溝中・谷口台小)※一時的余裕教室のため学校教育施設への返還あり。				
事業の自己評価 (今後の事業の方 向性、課題等)	利用件数約1700件、利用人数約1万9千人の実績があり、公民館の補完的機能を果たしている。 今後とも、これまでの機能の確保に努めるとともに、貸館利用率の高い公民館管区を中心に当事業のPRを行い、利用促進と利用件数の向上を図っていく。				
評価	《評価の視点》	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 <input checked="" type="checkbox"/>ある <input type="checkbox"/>ない ・ 有効性 <input checked="" type="checkbox"/>ある <input type="checkbox"/>ない ・ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/>ある <input type="checkbox"/>ない 			
	《評価の区分》	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> 再構築 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡充			
	《評価区分の理由》	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用件数と利用人数の実績から、一定の役割を果たしている。 ・ 生涯学習ルームの利用状況として、太鼓や吹奏楽など音楽的な活動での利用が多く、公民館で制約される内容の活動に利用されているため、公民館の補完的役割を果たしている。 ・ 生涯学習ルームを設置することにより、市立小・中学校の一時的余裕教室、特別教室を活用することができている。 ・ (社)相模原市シルバー人材センターに委託することにより、運営に係る費用を最小限に抑えている。また、利用のない日は同センターと調整し、管理人を配置していない。 ・ 学校施設の一時的な活用なので、民間となることはなじまない。 以上のことから、評価の区分としては現状維持とする。			
H24年度 予算への反映	精査を行った上で、必要な予算を計上				
経営評価委員会 による意見	○現状維持 学校教室を利用することのメリットを活かした利用目的の明確化を行うとともに、世代間交流を促進するなど効果的な事業内容や、効率的な利用状況になっているかどうかを検討・推進すべきである。				